

～OB&OG 紹介～ PART.3

今回は31回生、星政徳さんをご紹介します。

星さんは現在、趣味の写真を活かし EAGLES の試合にフィールドカメラマンとして撮影を下さっています。

齊藤(以下 S) - 宜しくお願いします。

星(以下 H) - 宜しくお願いします。

S:現在のご職業を教えてください。

H:ガス関連のルート営業を行っています。今年で5年目です。

S:大学までの間のスポーツ歴を教えてください。

H:小学校では卓球、中学校では卓球、高校はバスケ～卓球をしていました。

S:EAGLES との出会いって覚えている？

H:フットボールに関しては全くしらなかったですね。言葉自体も。

入学した頃、部紹介で良い格好の人達がパラパラを踊っていたのが、良い意味でも悪い意味でもインパクトが強かったですね(笑)

当時の4年生 MG * 山下鮎子さんにアンケートを書いている時、「アメフ

ト部って大変じゃないですか？」と、質問した所、「しんどかったら、みんな辞めてるよ。みんなそれなりにやれると思っているからやっているんだよ。」と言われたのを覚えています。

最終的には、* 菅野竜寛さんに入るか迷っている時に「4年間やった時に後悔させないから。オレが責任を取る！」の言葉が決め手でしたね。

* 山下鮎子(28回生) 菅野竜寛(29回生)

S:思い出のエピソードなんてある？

H:あつという間過ぎて、楽しかった思い出しかないですね。

フットボールやっていて、「やっていなかったら、味わえなかったな」と。

フットボールは本気になることの楽しさを覚えて、今まで一生懸命やっていた「つもり」だったが、あくまでも「つもり」だったので、本気の本気でやれるスポーツだな、と思いました。

あと、心の底から大声でプレーを出せ、全てを(全身全霊)出せるし、フットボールは本当に意地と意地とのぶつかりあいだと思います。

システム等ありますが、根底にあるのは「意地」だなと思います。

こんなに感情を表に出せるスポーツ、このアメフは最高だなと思います。

S:つらかった思い出はある？

H:練習がつらいのは差し置いて、1年生のリーグ戦初戦の* 東京外語大戦ですね。

試合には出てなかったのですが、全てにおいてつらかったですね。

* VS 東京外語大 13-14 敗戦 (2001 SEASON GAME)

S:思い出の試合があったら教えてください。

H:これだ！って言うのは正直なく、みんな覚えているので…不思議と全てのプレーを覚えています。

どれがって言うのは…難しいですね(笑)

S:EAGLES で学んだこと(得たこと)はありますか？

H:『4年間やった』と言う「自信」が為になっています。

正直辞めたい時期もありましたが、今社会人になって改めてやめなくて良かったなと実感しています。

4年間やったと言う自信が社会でも『糧』になっています。

S:メッセージを頂けますか？

H:プライベートの時間を割いてもらって練習に参加して下さる、コーチングスタッフの方に恩返しする事は「勝つ」事だと思います。

「これで大丈夫だろう」、「これだけやれば大丈夫だろう」と思うのではな

く、もっと、もっと「勝つ」事に食欲になって貰いたいです。

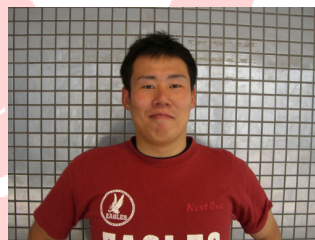
勝って終わらなければ、結果としてずっと一生ついて来ますし、やはり一年一年が勝負なので全てを賭けて欲しいです。

4年生を筆頭に下級生も後悔しないように、もっともっと「勝って」欲しいです。

S:ありがとうございました。

H:ありがとうございました。

(21.10.19 発行)



星政徳:31回生 現役時LB 守備の要としてチームに貢献。彼のタックルは「気持ち」そのものの印象が強かった事を覚えている。

INTERVIEWER 齊藤拓夫(25回生)